



石川技研コンサルタント 代表取締役社長

井上 秀次郎 氏

最新機器と技術力でインフラ建設をサポート

道路や橋、港湾など土木工事の測量・設計や、工事の補償に関するコンサルタントを通じ幅広くインフラ建設をサポート。ICTに対応した最新機器を導入する一方「どんなに機械化が進んでも、最も重要なのは人の技術力。人材への投資を大切にしていきたい」と決意をにじませる。

受注の約7割は国や県などの公共工事関連だ。「建設工事では、現場の形状を把握した設計に基づき実施されるため、我々の業務である測量・設計は建設の出発点を担っていることになりま」と語る。

海上の測量に関しては県内、唯一無二の技術力と経験がある」と自負する。測量船を自社で所有し、音波を用いて広範囲に海底の地形を捉えるマルチビーム測深機を導入。「本県沿岸で長年積み重ねた測量データ蓄積も強みです」と話し、洋上風力発電事業に関する海底調査にも携わる。

社員教育で特徴的なのは、測量専門学校への派遣制度だ。入社3年後の社員に、給与を保証して専門学校に通ってもらい、技術や資格を身に付けてもらう。「業界の技術革新が急速に進んでいます。変化についていける人材を育てていきたいです」と話す。

由利本荘市の西目高校の測量実習にも長年協力している。最新の計器に触れてもらいながら、仕事の内容や魅力



女性技術者も三次元測量データ解析に取り組む

を伝えている。昨年は学校の要望を受けて、初めて測量船に生徒を乗せた。「生徒たちは大喜びでした。若者に仕事を知ってもらい、体験してもらうことは業界のアピールや人材確保の面でも大切ですね」

測量、設計と並び、補償コンサルタントも事業の柱となっている。「公共工事によって民間の建物が損傷していないかなどの影響を調べ、補償額を算

定します。個人の資産に関わるため、大きな責任が伴う分、やりがいのある業務です」

自身は東京出身。10年前に秋田に移住し、先代が築いた事業を礎とし現在に至る。秋田の少子高齢化を悲観する必要はありません。課題があってもやり方を工夫すれば、解決に導くことができると思います。事業を通じ、秋田のより良い未来の設計図も描いていく。



株式会社
石川技研コンサルタント

株式会社 石川技研コンサルタント
 〒010-0955 秋田市山王中島町4-1
 TEL.018-864-4967
<http://www.kigc.co.jp/>
 1973年6月25日創業
 測量・建設・補償コンサルタント